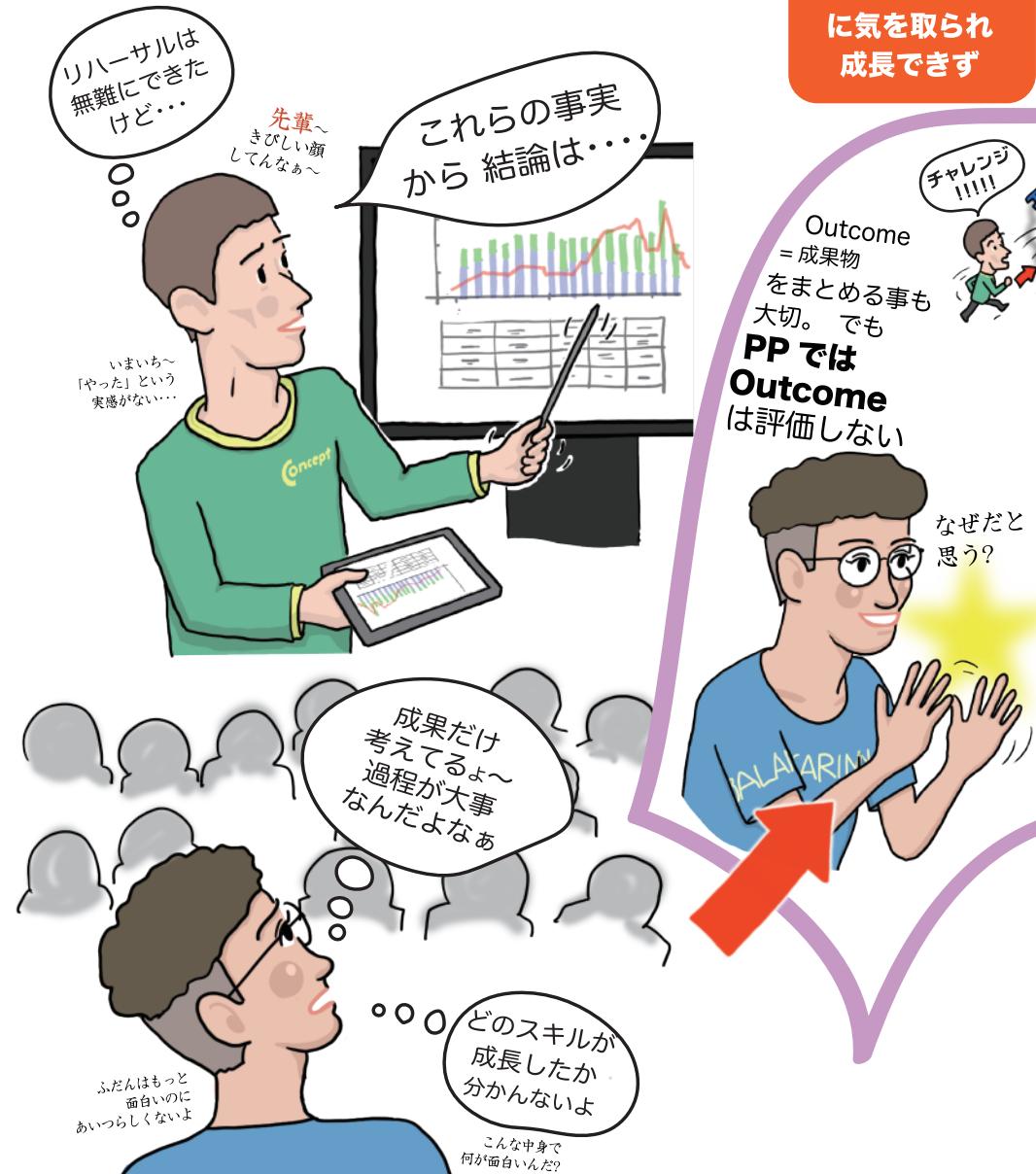


ケース 7 成果第一さん Outcome(成果物) だけに気を取られ



成果第一さんは、Outcomeを上げるために集中し過ぎ、新しい事に挑戦したり自らのスキルを高めることを意識しませんでした。論理の破綻や、情報不足も気にしそう、成長の実感の得られない萎縮した発表になりました。しかし「分からなく

て面白いこと」に意識を向けると、世界は謎に満ちていることに気づき、成長して未来を創るのが自分の役割だと自覚。Outcomeにこだわらず、大胆な仮説をたて、もがき苦しみながら大きく成長しました。